

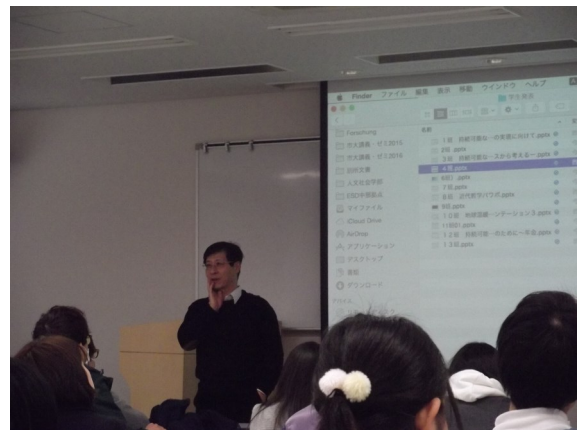
近代哲学と技術

担当教員： 別所 良美

履修年次・区分： 1～4年（共通—教養—人間と自然）

授業のテーマ： 技術発展と経済成長とが地球環境という限界を前に根本的な反省を迫られている現代、技術の新しい在り方を模索することが一人一人に求められており、技術を取り巻く経済的、社会的、文化的意味と影響力について批判的に理解する視点を持つことが必要である。技術と経済、社会、歴史、文化との関係を思想的・哲学的に捉えることによって、未来における技術のあり方を自ら展望する力を養う。

この日の授業内容： 課題発表



「持続可能な社会への提言」という共通テーマの下、グループごとにそれぞれのテーマを選定し、調査、考察した内容をプレゼンテーションしました。ゴミ問題、国民年金、リサイクル、環境教育など、様々な課題が並びました。

学生たちの発表の後、「この講義は近代哲学と技術、というタイトルでやっていますが、環境問題が私たちにとって大きなテーマになってきています。身近なことから行動を始める姿勢を大切にしてほしい」と講評をいただきました。

(2017年3月取材)